



SSH レターズ

長崎県立大村高等学校

～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/5 号 2018/08/21

共同研究が始まりました！

多様な他者との連携による創発力や協働実践力の育成および研究成果の共有を目指し、離島地区の高校との共同研究をスタートさせました。その第一歩として、7月21日～22日に1泊2日の日程で玄界灘に浮かぶ「壱岐島」での野外調査を実施しました。そこでは壱岐高校の科学部の部員との交流や共同での生物調査、農家の方への聞き取り調査等を行い、たくさんの有益な情報やサンプルを収集できました。詳細につきましては、次号で紹介させて頂く予定です。

◆SSH生徒研究発表会 in 神戸

8月8日（水）、9日（木）、神戸国際展示場で「SSH 生徒研究発表会」が開催され、数理探究科および理科部の生徒 11 名が参加しました。これは、毎年全国の SSH 校と海外からの招聘校が一同に会し実施されるものです。1 日目は、数学者の秋山 仁 先生の基調講演と各校のポスター発表が行われました。2 日目は、前日の審査で選出された学校による口頭発表等が行われました。本校からは、「メダカの縄張り行動に関する研究」というタイトルで、3 年生の岩元 佑京さん、大町 幸花さん、三戸谷 遥乃さんがポスター発表を行いました。惜しくも口頭発表には選出されませんでしたでしたが、高校生らしい素朴な視点からの研究という評価を頂きました。また、2 年生の 8 名は、各校のポスター発表をまわり、テーマ設定や実験方法、ポスターやプレゼンテーションの仕方などを書き留めたり、積極的に質問をするなど、これからの研究に活かすべく熱心に活動していました。



写真 左から「ポスター発表のようす」「全体会で質問する生徒」「海外からの生徒との交流」「参加した生徒たち」

◆地学研修講座（数理探究科 2 年・理科部）

7月23日（月）、九州大学より中野 伸彦 先生をお招きし、プレートテクトニクスで考える地球変動の歴史および日本とアメリカ西部の地質の違いについての講義をして頂きました。また、生徒の質問にも丁寧に対応して頂きました。今回の講義で得た新しい知識や視点により、グランドキャニオンはもとより身の回りの当たり前に見える景色の中に、様々な気づきが生徒の中に生まれることと思います。



写真 左：日本列島の形成過程を説明する中野伸彦先生
右：生徒との質疑応答のようす

◆壱岐野外調査（理科部共同研究班）

7月21日（土）、22日（日）に壱岐高校科学部と合同で、壱岐島内におけるクワガタとアメンボに関する野外調査を実施しました。

【1日目】

壱岐高校科学部との交流

野外調査①（雑木林）

野外調査②（沿岸部）

【2日目】

野外調査③（ミカン農園）

野外調査④（ユズ農園）

野外調査⑤（小川・水路）



写真 左から「壱岐高校との交流」「ミカン農園」「小川調査」